



第 40 回 定 期 決 算 総 会 議 案

平成 31 年度／令和元年度 事業報告書 正味財産増減計算書 貸借対照表 財産目録



日時：令和 2 年 6 月 10 日（水）AM 9：25 受付

場所：赤羽会館 北区赤羽南 1－13－1 電話 03－3901－8121

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

東京都台東区下谷 1－13－10 苗木ビル 301 電話 03－5830－7131

第40回 決算総会式次第

司会 高見由紀子

午前9時50分～

1. 開会の辞

室井邦春

2. 会長挨拶

小川孝一

3. 来賓祝辞

4. 議長選任

5. 定数報告及び議事録署名人の指名

6. 議案審議

 第一号議案 平成31年度・令和元年度事業報告承認の件 岩瀬一郎

 第二号議案 平成31年度・令和元年度決算報告承認の件 岡田譲治

 監査報告 池本淳

 第三号議案 役員改選の件 新会長

 第四号議案 その他 新会長

7. 表彰状授与

 (1) 永年勤続者表彰

 ・配置販売業者表彰

 ・優良配置販売業者表彰

 (2) 受賞者代表謝辞

8. 閉会の辞

室井邦春

注: 正午より(令和2年第三回講習会は延期)

 第三回 資質向上講習会 午前11時45分受付 正午～午後5時

 内容 : 第5章 一般用医薬品の適正使用・安全対策

 第4章 薬事関係法規・制度・医薬品販売の最新情報

 講師 : 東京医薬専門学校 薬業科 講師 庄司良文 先生

 東京都病院薬剤師会 元副会長

 (有)丈夫屋顧問

今泉真知子 先生

スローガン

◎先用後利の精神に則り都民の保健衛生向上に寄与しよう。

◎配置薬によるセルフメディケーションを推進し、地域医療に参入しよう。

ごあいさつ

会長 小川孝一

新型コロナウイルス(病名 COVID-19、ウイルス名 SARS-CoV-2)の未曾有の感染拡大が世界中大流行進行中です。皆様におかれても当惑した日々をお過ごしのことと思います。

決算総会を迎え皆様に報告致します。在任当初の「身の丈宣言」協会の財政改革が2年間でこの様に結果が成りました。協会費の値上げ(¥3,000 プラス)頂き、聖域になっていた固定経費の削減(事務所経費、人件費)を行い、会員皆様の理解と全理事の尽力のお陰で実行出来ました。ありがとうございました。

振り返りますに、新体制発足後に専務理事、理事の辞任、新規採用事務員の年未更新による事実上の退職等ありました。このような事態を招いたのは私の未熟な運営が原因と反省致します。

活動としては主に資質向上薬事講習会 都委託講習会 薬物乱用防止啓発活動(麻薬撲滅運動)、献血協力事業(今年は8月1日配置の日に実施予定)、関東ブロック会議、全国配置薬協会があります。新会長の下に更に発展し会員の和が大きくなるように協力し奉仕に務め、協会の進展に努めて頂きたいと思います。顧客に安全な医薬品を配置し安心をお届け下さい。私達の業の使命です。末筆になりますが私の一売薬人生に勉強する機会を頂き成長を加え頂き感謝致します。皆様ありがとうございました。

以上

平成 31 年度/令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

一般社団法人東京都医薬品配置協会

[概 況]

京都にある明治 27 年創業の亀田利三郎薬舗が、日本ではじめて「六神丸」を販売して 125 年。約 100 年前にスペイン風邪(スペインが発生源ではない)が大流行した時には、亀田利三郎薬舗の前に卸問屋が「六神丸」を求めて群れをなしたという記録があるそうです。また、第二次大戦の戦争中は出征する兵士がよく買いに訪れたそうです。スペイン風邪によって日本国民の半数が感染し、38 万人が亡くなったといわれています。最近の研究では 50 万人近いともいわれています。日本では 1918(大正 7)年 8 月からはじまり、第 1 回の大流行が 1918 年 10 月から 1919(大正 8)年 3 月、第 2 回が 1919 年 12 月から 1920(大正 9)年 3 月、第 3 回が 1920 年 12 月から 1921(大正 10)年 3 月にかけてで、1921(大正 10)年 7 月に終息。死亡者の月単位のピークは 1918 年 11 月と 1920 年 1 月の 2 回でそれぞれ 4 万人前後。世界では当時の人口の四分の一が感染し、5 千万人が亡くなったといわれています。また 1 億人が亡くなったという研究もあります。また、このために第一次大戦(1914 年～1918 年、戦死者 900 万、非戦闘員死者 1000 万)がはやく終結したともいわれています。

公衆衛生の専門家のレスター・ブレスロウ氏は、著書「健康習慣の持続性と死亡率との関係」のなかで、次の 7 つの健康習慣を実行している数が多いほど疾病の罹患が少なく、寿命も長かったことを証明しています。十分に睡眠時間を取っている、喫煙をしない、標準的な体重を維持している、過度の飲酒をしていない、定期的に運動をしている、朝食を毎日食べている、間食をしない、です。

結局のところ、心身のバランスが整った状態を維持するための手段が述べられているということでしょう。心身のバランスが整っていれば、結果として病気になりにくいということです。

現代はストレス社会といわれます。心身への適度な刺激は一種の活力源であり、また心身的な抵抗力をつけるうえでも多少は必要なものです。また時間の経過とともに、もとの状態に戻るものです。からだはこころを、こころはからだを規制しあっています。同じ環境にあっても病気に罹る人と罹らない人の差は、こころとからだの防衛力です。こころやからだの不調は敵(こころの病、病原体等)の格好の攻撃対象となるため、度を越えたストレスには、はやめに対応して防衛力を維持しなくてはなりません。そのためにもご家庭の薬箱のなかから症状に適応するくすりを、はやめに利用していただかなければなりません。都民の保健衛生に少しでも寄与できるよう引き続き努力をお願いします。

令和 2 年度は年度始まり早々に緊急事態宣言が発出され、「ステイ・ホーム」(ウチで過ごそう)、「ソーシャル・ディスタンス」(距離を保とう)と呼ば付けられています。各国の対応にも差があります。医薬の進歩があっても、こころとからだの防衛力は進歩しません。防衛力を維持し、うつさず、うつされず、を基本に商売の継続をお願い致します。

平成30年度の新会長の「身の丈」宣言にはじまり、場所と人を変えて、運営の効率化を大胆に行いました。平成 31 年度／令和元年度・当決算総会年度は年度中央に事務員の退職があり、コスト削減のため採用を行わず理事の間で事務全般を処理しております。半面、常駐でないことで会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、今後も一層の効率化が必要な状況です。会員各位の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

I. 会議等

1. 決算総会 令和元年6月14日(金) 赤羽会館大ホール

- (1) 平成30年度 事業報告、決算報告を承認
- (2) 優良配置業者1名、永年勤続配置販売業者・従事者2名を表彰

2. 予算総会(延期のため未実施) 令和2年3月18日(水) 赤羽会館小ホール

- (1) 令和2年度 事業計画、収支予算案を承認

3. 理事会

5月14日 ①監査会②決算承認、決算総会、協会会長表彰の件③資質向上講習の件④その他、行事の件

7月3日 緊急理事会。事務員退職における10月以降の協会事務対応

7月24日 講師の先生方と令和2年度講習についての打ち合わせ(研修運営委員会併催)

1月27日 予算(案)総会資料検討確定

II 事業内容

1. 教育事業

薬事講習会:東京都より委託(東京都登録、全配置販売業者対象)

11月17日 赤羽会館小ホール

◎『最近の薬務行政について』

東京都福祉保健局健康安全部薬務課長 早乙女芳明先生

◎『配置販売業に係る法令について』

東京都福祉保健局健康安全研究センター

広域監視部 薬事監視指導課薬事審査担当主任 今井祐子先生

◎『健康食品』

◎『医薬品が承認されるまで』

◎『最近の話題』

元東京都薬務課、

元独立行政法人医療機器総合機構品質管理部 平井政己先生

(2) 一定水準 30 時間資質向上講習会

4月26日 赤羽会館大ホール

第3章 主な医薬品とその作用

東京医薬専門学校薬業科 庄司良文 先生

6月14日 赤羽会館大ホール

第5章 一般用医薬品の適正使用・安全対策

東京医薬専門学校薬業科 庄司良文 先生

第4章 薬事関係法規・制度、医薬品販売の最新情報

東京都病院薬剤師会 元副会長 (有)丈夫屋顧問 今泉真知子 先生

8月8日 赤羽会館会議室

3月18日 赤羽会館小ホール（延期・当年度中に未実施）

第6章 リスク区分等の変更があった医薬品について

第7章 配置販売業者に求められる理念・倫理・関連法規

元東京都薬務課、元独立行政法人医薬品医療機器総合機構調査員

平井 政己先生

第1章 医薬品に共通する特性と基本的知識

第2章 人体の働きと医薬品

東京都病院薬剤師会 元副会長（有）丈夫屋顧問 今泉真知子 先生

2.都民に対する薬事知識の普及啓発事業

(1)おきぐすり相談窓口 相談件数、今年度2件

3. 薬務行政協力事業

(1)麻薬・覚せい剤撲滅運動に対する協力

6月23日東京都主催「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」都民の集い後楽園

11月24日 麻薬撲滅 場所 東京都議会議事堂 都民ホール(新宿)

(2)献血協力 10月27日：新宿東口献血ルーム（10:00－16:00 広報含む）

4.配置薬業向上改善事業

(1)関係団体会議他出席

平成31年5月23日 関東ブロック会議定期総会 ……於)埼玉

令和元年7月22日 全配協関係総会

配置部会総会・社員総会” ……於)滋賀(大津)

11月27日 関東ブロック会議 ……於)埼玉

12月11日 (一社)全国配置薬協会 全国協議会会長会議…於)東京

令和元年1月15日 (公社)日本薬剤師会新年賀詞交歓会 ……於)東京

1月23日 (公社)東京都薬剤師会新年賀詞交歓会 ……於)東京

1月29日 (公社)東京都医薬品登録販売者協会
新年賀詞交歓会 ……於)東京

以上

第二号議案

令和元年度 正味財産増減計算書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

(第 40 期)

(単位：円)

	決算額			備 考
	当年度	前年度	増減	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	3,912,000	4,241,000	△ 329,000	予算 決算
受取会費	3,912,000	4,241,000	△ 329,000	甲 95 名 甲 76 名
②受諾事業収益	446,516	517,044	△ 70,528	乙 110 名 乙 112 名
全配協補助金	50,000	50,000	0	
資質向上対策費助成金	188,000	292,000	△ 104,000	資質向上対策還付金（令和 1 年度分）
東京都委託金	208,516	175,044	33,472	講習会費・都より委託費
③雑収益	336,090	799,182	△ 463,092	
受取利息	88	16	72	定期預金・普通預金
受講料収入	336,000	798,000	△ 462,000	一定水準資質向上講習会受講料
雑収益	2	1,166	△ 1,164	
経常収益計	4,694,606	5,557,226	△ 862,620	
(2) 経常費用				
①事業費				
i 指導教育に関する事業費	1,816,700	3,637,730	△ 1,821,030	
(i) 講習会費(協会)	456,802	596,756	△ 139,954	
講師料	125,000	170,000		一定水準資質向上講習会
賃借料	102,230	151,790		4 回実施。併せて 129 名参加
旅費交通費	43,240	76,490		外部講師料・交通費・印刷製本
通信運搬費	62,945	87,904		会場費・付帯設備費等
印刷製本費	30,282	68,149		テキスト印刷製本等
費用弁償	87,500	27,000		
記録費	0	0		
雑費	5,605	15,423		
(ii) 東京都委託講習会費	156,985	113,528	43,457	
講師料	30,000	30,000		外部講師講演料
賃借料	12,740	0		1 回実施。39 名参加
旅費交通費	13,340	13,450		
通信運搬費	41,108	32,377		テキスト印刷製本等

印刷製本費	4,642	2,482		資料印刷費は別科目
費用弁償費	55,000	33,653		
記録費	0	0		
雑費	155	1,566		
(iii) 給料手当	419,033	1,631,552	△ 1,212,519	
給料	419,033	1,631,552		職員全給料の 2/3 (含む残業手当)
(iv) 賃借料	778,940	1,264,318	△ 485,378	
賃借料	778,940	1,264,318		全賃借料の 2/3
(v) 表彰費	4,940	31,576	△ 26,636	
記念品費	4,940	31,576		優良配置業者表彰
旅費交通費	0	0		永年勤続者表彰
通信運搬費	0	0		
印刷製本費	0	0		
費用弁償費	0	0		
分担金	0	0		表彰祝賀会分担金として
ii 薬事知識普及啓発のための事業費	84,360	77,280	7,080	
(i) 都民への薬草勉強会費	0	0	0	
広告宣伝費	0	0		薬草勉強会 都民参加
旅費交通費	0	0		実費交通費
通信運搬費	0	0		都立薬用植物園に於いて
印刷製本費	0	0		都民に呼びかけて開催
費用弁償費	0	0		
記録費	0	0		
雑費	0	0		
(ii) 都民、消費者への情報開示費	84,360	77,280	7,080	
インターネット通信費	84,360	77,280		インターネットによる情報開示
iii 薬事衛生事業への協力費	50,800	81,114	△ 30,314	
(i) 献血促進活動費	14,020	27,824	△ 13,804	
旅費交通費	4,020	6,380		お手伝い者実費交通費
通信運搬費	0	4,960		お手伝い者・協力者お礼
費用弁償費	10,000	14,000		
記録費	0	0		
雑費	0	2,484		
(ii) 麻薬撲滅活動協力費	36,780	53,290	△ 16,510	
旅費交通費	10,780	14,290		「6・26 国際麻薬乱用撲滅」
通信運搬費	0	0		都民の集いに参加協力
寄贈費	0	0		「麻薬・覚せい剤乱用防止運
印刷製本費	0	0		動」都民大会に参加協力
費用弁償費	26,000	39,000		
記録費	0	0		

iv 相談事業費	0	1,123	△ 1,123	
(i) 電話相談費	0	1,123	△ 1,123	今年度電話相談 2 件
通信運搬費	0	1,123		
v 支部活動事業費	0	7,778	△ 7,778	
(i) 支部活動事業費	0	7,778	△ 7,778	
東部支部	0	7,778		3 支部活動費
西部支部	0	0		実費精算方式
多摩支部	0	0		
vi 情報収集及び刊行物発行費	0	64,800	△ 64,800	
(i) 機関紙発行費	0	64,800	△ 64,800	
費用弁償費	0	0		
通信運搬費	0	0		
印刷製本費	0	64,800		
vii 上部団体会議費	89,780	77,900	11,880	関係団体へ出席
(i) 全配協会議費	37,260	26,060	11,200	
会議費	0	15,000		会議費、交通費 他
旅費交通費	27,260	4,060		
費用弁償費	10,000	7,000		
(ii) 関東ブロック会会議費	52,520	51,840	680	
会議費	28,000	21,000		会議費、交通費 他
通信運搬費	0	0		(5 月・1 1 月)
旅費交通費	4,520	6,840		
費用弁償費	20,000	24,000		
viii その他の事業	0	0	0	
(i) 関東ブロック東京大会	0	0		東京担当県
事業費計	2,041,640	3,947,725	△ 1,906,085	
②管理費				
費用弁償費	316,000	469,550	△ 153,550	役員・移転・新採用・他団体との会議等
給料手当	209,517	815,775	△ 606,258	職員給料（含む残業手当） 全給料の 1/3
厚生費	0	377,768	△ 377,768	職員 中退金掛金・社会保険料他（法定）
全配協負担金	128,500	128,000	500	
関東ブロック会負担金	97,200	97,000	200	
新聞図書費	59,160	69,720	△ 10,560	
旅費交通費	208,837	378,200	△ 169,363	職員定期代・他団体との会議
通信運搬費	129,162	166,096	△ 36,934	電話、総会案内送料

什器備品費	0	0	0	
消耗品費	138,152	6,334	131,818	パソコン購入
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	22,220	40,626	△ 18,406	総会資料・封筒増刷
水道光熱費	72,157	112,664	△ 40,507	
賃借料	389,470	632,158	△ 242,688	事務所・コピー機リース料 全賃借料の1/3
手数料	173,259	332,872	△ 159,613	山田会計顧問料・会費徴収手 数料・振込手数料
損害保険料	0	0	0	
租税公課	80,600	111,250	△ 30,650	都民税
雑費	80,280	285,889	△ 205,609	他団体との会議等・慶弔費
管理費計	2,104,514	4,023,902	△ 1,919,388	
経常費用計	4,146,154	7,971,627	△ 3,825,473	
当期経常増減額	548,452	△ 2,414,401	2,962,853	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	548,452	△ 2,414,401	2,962,853	
一般正味財産期首残高	1,106,637	3,521,038	△ 2,414,401	
一般正味財産期末残高	1,655,089	1,106,637	548,452	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	1,655,089	1,106,637	548,452	

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日

(第40期)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現 金	88,193	21,208	66,985
普通預金	472,412	574,661	△ 102,249
振替貯金	607,640	416,719	190,921
当座預金	589	589	0
定期預金	1,000,085	1,000,000	85
仮 払 金	21,908	101,888	△ 79,980
流動資産合計	2,190,827	2,115,065	75,762
2. 固定資産			
(1)基本財産	0	0	0
(2)特定資産	0	0	0
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154	95,154	0
保証金	0	0	0
固定資産合計	95,154	95,154	0
資 産 合 計	2,285,981	2,210,219	75,762
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	260,000	666,000	△ 406,000
預り金	370,892	437,582	△ 66,690
流動負債合計	630,892	1,103,582	△ 472,690
負 債 合 計	630,892	1,103,582	△ 472,690
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産	1,655,089	1,106,637	548,452
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	1,655,089	1,106,637	548,452
負債及び正味財産合計	2,285,981	2,210,219	75,762

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却について
該当なし
- (3) 引当金の計上基準について
該当なし
- (4) 消費税等の会計処理方法について
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 会計方針の変更

該当なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正 味財産から	(うち一般正 味財産から	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

6 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

令和2年3月31日

(第40期)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現 金 現金手許有高	88,193		
普通預金 三菱UFJ銀行日暮里支店	472,412		
振替貯金	607,640		
当座預金 三菱UFJ銀行日暮里支店	589		
定期預金 三菱UFJ銀行日暮里支店	1,000,085		
仮 払 金 決算総会会場費等	21,908		
流動資産合計		2,190,827	
2. 固定資産			
(1)基本財産	0		
(2)特定資産	0		
(3)その他固定資産			
電話加入権	95,154		
保 証 金 帝都医薬品配置協同組合	0		
固定資産合計		95,154	
資 産 合 計			2,285,981
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費 令和2年度分	260,000		
預り金 源泉税、全配協費預り	370,892		
流動負債合計		630,892	
負 債 合 計			630,892
正 味 財 産			1,655,089

監 査 報 告 書

理事会により提示のありました事業報告書及び会計帳簿その他証憑、書類等を監査致しました結果、適正且つ正確であることを確認いたしました。

令和2年5月13日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 池 本 淳

監 事 野 村 明 正

監 査 報 告 書

令和2年5月13日

一般社団法人 東京都医薬品配置協会
会長 小川孝一 殿

一般社団法人 東京都医薬品配置協会

監 事 池本 淳



監 事 野村 明正



私たち監事は、令和2年5月13日に、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの平成31年／令和元年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- (1) 決算書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な検査、立会、照合及び報告の聴取その他通常とるべき必要な方法を用いて監査した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はないと認めます。
- (4) 公益目的事業の実施が適正に行われたことを認めます。

以上

表彰状授与

- ☆ 薬事功労賞受賞者芳名
東京都功労者表彰

- ☆ 平成 31 年度／令和元年度 優良配置業者表彰者
東 部 支 部
多 摩 支 部
西 部 支 部

- ☆ 永年勤続者賞
配置販売業者
10 年

配置従事者
10 年

平成31年度／令和元年度は上記いずれも該当者なし

会費等納入のお願いの件

本会は昭和 55 年 4 月の社団法人設立以来、今日まで医薬品のもつ倫理性及びその公益性に対する会員の皆様の充分なご理解と軽度の疾患に対するセルフメディケーションの推進並びに、その知識の啓発を通して地域住民の保健衛生確保のため努力を重ねてまいりました。本年もこの趣旨に沿い、各事業等を実施しており、これらの費用は会費をもって賄われております。

何卒上記ご理解の上、会費等の納入をお願い申し上げます。

※公益事業を円滑に遂行します上からも会費納入が未だされていない場合は納入の程お願い致します。

令和2年度 納入会費等

項目		金額
1.協会費(身分証1枚毎)	甲	22,000 円
	乙	20,000 円
2.全配協賦課金		
体質強化費	甲、乙共	800 円
政治連盟費	甲、乙共	200 円
資質向上対策費	甲、乙共	3,000 円
合計(上記 1.+2.)	甲	26,000 円
	乙	24,000 円

※ 全配協賦課金は、他の道府県にて納入している場合は必要ありません。

この場合は 2.全配協賦課金を除く額、即ち 1.協会費 となります。また、体質強化費、政治連盟費は金額が変わりましたが、総額は変わりません。

既に会員の方には納入案内を差し上げておりますが、郵便の不着、未着があれば、改めてお送りしますので、その旨ファックス、または電話(留守録にお名前録音お願いします)、もしくは tohaikyo@gmail.com までメールをお願いします。